

GPT監査テーマ： 帰省ラッシュで渋滞中の車内での楽しい過ごし方

【**プロンプト**（生成AIへの入力内容： Written by Tomonori Tomura）】
「あなたはリクリエーションに関するプロのアドバイザーです。帰省ラッシュの中、家族で自動車移動中に、道路が渋滞した際に、家族で退屈せず楽しく車内で過ごす方法を、合計700文字程度で5つ教えて下さい。」

【**アウトプット**（生成AIの出力内容 **Written by ChatGPT-o1 (所要6秒)**）】

1. しりとり+エピソードトーク

家族全員でしりとりをするだけでは物足りない……というときは、単語に関連した思い出やエピソードを一言添えてみましょう。たとえば「りんご」と言った人は、“昔おばあちゃんが送ってくれた青森のりんごがすごく甘かった”など。単語から家族の記憶が広がって、いつものしりとりよりも会話が盛り上がります。単に続けるのではなく、それぞれの言葉にまつわるストーリーを共有することで、道中の時間があっという間に感じられるでしょう。

2. テーマを決めたクイズ大会

家族の趣味や旅行先にちなんだクイズを即興で出し合い、みんなで考えてみるのはいかがでしょうか。問題を出す人はクイズ番組の司会者になりきって、少しオーバーなリアクションをするのも楽しい演出になります。回答タイムを設けたり、答えを想像しやすくなるようにヒントを小出しにしたりすると、子どもから大人まで参加しやすく、渋滞のイライラも自然とやわらぐはずですよ。

3. BGMカラオケ&替え歌作り

お気に入りの曲を流しながら、みんなで口ずさんでみると一体感が生まれます。さらに、歌詞の一部を車内や旅先に合わせた替え歌にアレンジしてみると、一気に大爆笑になることも。たとえば「海に行く」などこれからの目的地にちなんだ歌詞を付け足すと、子どもたちも面白がって一緒に考えるきっかけになります。途中で役割を交代しながら、アイデアを出し合うのがポイントです。

4. ライセンスプレートビンゴ

道路を走っているとさまざまな車のナンバープレートが目に入ります。その数字や文字を使って“自分だけのビンゴカード”を作成し、見つけたものにチェックを入れていきましょう。例えば「〇〇県ナンバー」や特定の数字の並びなどを先に見つけた人が勝ち、というルールを設定すると、長時間の渋滞でも目を凝らして楽しめます。運転に支障のないように、助手席や後部座席担当で行うのがおすすめです。

5. 次の休憩スポットプランニング

休憩所やサービスエリアに着いたら何を食べたいか、どんなおみやげを買いたいかなどを話し合っておくのも有意義です。ガイドブックやスマホで事前に調べながら、ついでにそのエリアの名物情報を共有すると、到着が一層待ち遠しくなります。子どもが小さい場合は、「ご当地ソフトクリームを探そう」など、わかりやすい目標を設定するとワクワク感が高まるでしょう。食べたいものや見たい景色をみんなで話すだけでも、車内の空気が明るくなります。

（※赤字ハイライトとアンダーラインはGPT監査人にて付したもの）

【**所長のGPT監査ノート**（Written by Tomonori Tomura）】

「定番の車内遊びやアレンジ版など、現在小5の息子とこれまでにやってきたような、すぐに取り組みそうな実用的なものが挙げられていた。今のところは、生成AIとの“会話”も楽しい車内遊びにできそうで、スマホと車の連携で好みの音楽を生成AIとやりとりする、生成AIに無茶ぶりする、といった生成AI自身をもっとアピールしてきても良かったようには思われる。クイズ大会や車内での演出に、スマホの効果音アプリを活用するなどあっても良さそうに思われる。ワイワイしながらも安全運転を最優先にどうぞご安全に過ごされたい。」

